

科目名	単位数	実務経験を活かした教育の取組	心理	現代	国際
文化資源論	2	博物館・文書館での実務経験を活かした講義を行う。	○	○	○
Area Studies	2	professor of international policy studies, Nanzan University			○
現代社会と福祉1	2	ソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。	○	○	○
現代社会と福祉2	2	ソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。		○	○
発展演習	2	学芸員の実務経験を活用した指導を行う。	○	○	○
発展演習	2	本演習の担当教員は外務省在外公館の専門調査員としてオランダに派遣され、国際機関に関連する業務に従事した。この知見を活かして、学問としての国際関係論と現実の国際政治との架橋を目指す。	○	○	○
比較教育学	2	高校非常勤講師(中国語、世界史、政治経済)の経験から、高校の状況についても議論する。	○	○	○
保育原理	2	保育園・幼稚園の実務経験のあるものが、模擬保育の中でコメントを行います。模擬保育等の詳細については、授業内に別途指示致します。	○	○	○
保育内容演習(健康)	2	本科目は、大学病院の小児科病棟勤務経験のある教員が、その経験を活かした具体的、実践的な講義を行う。	○	○	○
保育内容演習(人間関係)	2	幼稚園、保育所での実務経験のあるもの授業である。	○	○	○
保育内容演習2(健康)	2	本科目は、大学病院の小児科病棟勤務経験のある教員が、その経験を活かした具体的、実践的な講義を行う。	○	○	○
子ども家庭支援の心理学	2	各種現場で活動しておられるゲストスピーカーに登壇いただく回がある	○	○	○
福祉心理学	2	児童相談所等の公的機関の常勤勤務経験のある教員が、実務経験から児童福祉分野・虐待問題・障がい問題等について詳しく講義し、実践的な心理支援について学べるようにしている。	○	○	○
ICTプロジェクトA	1	・学芸員の実務経験を活用した授業を行う。			○
ICTプロジェクトC	2	・学芸員の実務経験を活用した授業を行う。			○
人文情報学	2	博物館・文書館での実務経験を活かした講義を行う。			○
介護等体験実習	2	社会福祉関連施設から、外部講師を呼んで事前指導を受ける。	○	○	○
関係行政論	2	多くの授業回で、現場を熟知する実務経験者、外部講師、ゲストスピーカーが講師となり、講義を行う。	○	○	○
教育史	2	高校非常勤講師(中国語、世界史、政治経済)の経験を生かして高校教育についても授業をする	○	○	○
教育制度論	2	幼稚園及び公立中学校(社会科)での実務経験をもとに、教育制度や社会がどのように各教育段階の子どもの成長・発達を支えているか、またその課題を理解できるような講義を展開する。	○	○	○
教育方法論1	2	私立幼稚園教諭 14年	○	○	○
教職概論2	2	自身の実務経験、体験談を講義で紹介しします。	○	○	○
教育課程論	2	愛知県公立小学校教諭(9年間) 愛知県公立中学校教諭(社会科・3年間)	○	○	○
基礎演習	2	キャリアデザインで先輩の話聞くことは、実務経験を聞くことである。	○	○	○
基礎演習	2	キャリアデザインで先輩の話聞くことは、実務経験を聞くことである。	○	○	○
基礎演習	2	キャリアデザインで先輩の話聞くことは、実務経験を聞くことである。	○	○	○
基礎演習	2	キャリアデザインで先輩の話聞くことは、実務経験を聞くことである。	○	○	○
基礎演習	2	キャリアデザインで先輩の話聞くことは、実務経験を聞くことである。	○	○	○
基礎演習	2	キャリアデザインで先輩の話聞くことは、実務経験を聞くことである。	○	○	○
基礎演習	2	キャリアデザインで先輩の話聞くことは、実務経験を聞くことである。	○	○	○
基礎演習	2	キャリアデザインで先輩の話聞くことは、実務経験を聞くことである。	○	○	○
コミュニティワーク論	2	実践から学ぶ社会福祉学の研究者、ソーシャルワーカー養成教育者として、理論と実践を結びつけられるような講義を実施する。		○	○
公的扶助論	2	福祉行政での行政実務経験を踏まえた講義を行う。		○	○
子ども青少年支援論	2	不登校支援で活躍する団体のメンバーも、自分たちの活動を踏まえて学生に何が必要であるのかを伝えます。	○	○	○
子ども青少年支援演習	2	高校の非常勤講師の経験を活かして演習を行う。	○	○	○
公認心理師の職責	2	臨床心理士・公認心理師として臨床実務経験のある教員が講義する。	○	○	○
子どもの保健	2	本科目は、大学病院の小児科病棟勤務経験のある教員が、その経験を活かした具体的、実践的な講義を行う。	○	○	○
マイノリティと共生	2	担当教員各々の専門領域における研究及び実務経験をいかした講義を実施する。	○	○	○
名古屋と行政	2	名古屋市の各局・各課の方々が、ゲストスピーカーとして来校してください。現場での実務経験を活かした現実社会の動向について、講義していただきます。	○	○	○
人間関係論	2	【担当者の実務経験】幼稚園教諭 現代社会における乳幼児の人間関係について理解を深める上で、特に元幼稚園教諭の立場から、実践現場に根差した子どもの関係構築のあり方や、子どもの人間関係発達を支える保育者間の人間関係・保護者との人間関係などについて、実践者視点で深く理解できるように授業を展開する。	○	○	○
乳児保育1	2	保育所・子育て支援センターなどでの実務経験がある講師による授業である。	○	○	○
乳児保育2	1	保育所・子育て支援センターなどで実務経験がある講師による授業である。	○	○	○
音楽表現1	2	特定非営利活動法人リトミック研究センター養成校における、リトミック指導者養成の経験を生かした講義内容になっています。	○	○	○
臨床心理学概論	2	臨床心理士・公認心理師の資格を持った教員が自身の心理臨床経験を踏まえて、理論と実践をつなげる教育を行う。	○	○	○
老人福祉論	2	社会福祉士として施設での勤務経験を踏まえ授業を展開する。	○	○	○
産業・組織心理学	2	企業の人事担当者を外部講師として招聘し、人事評価や人的資源管理について講演をしていただく予定である。	○	○	○
専門演習1	2	社会福祉士として施設での勤務経験を踏まえ授業を展開する。これまでの研究活動から、近年の高齢化問題に関する授業を展開する。	○	○	○
専門演習1	2	ソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。実際にY県内全域で用いられている指標を用いた学習を行う。	○	○	○
専門演習1	2	高校の非常勤講師の経験を生かして、高校における教育問題も議論する	○	○	○
専門演習1	2	学芸員の実務経験を活用した指導を行う。	○	○	○
専門演習1	2	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー(PSW)経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。	○	○	○
専門演習1	2	夏以降に、指導教員が実施している認知行動療法の陪席および見学を計画している。	○	○	○
専門演習1	2	実践から学ぶ社会福祉学の研究者として、社会課題の目を向け、それに対する自信の考えを展開できるようなゼミを運営する。	○	○	○
専門演習1	2	本演習の担当教員は外務省在外公館の専門調査員としてオランダに派遣され、国際機関に関連する業務に従事した。この知見を活かして、学問としての国際関係論と現実の国際政治との架橋を目指す。	○	○	○
専門演習2	2	学芸員の実務経験を活用した指導を行う。	○	○	○
専門演習2	2	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー(PSW)実務経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。	○	○	○
専門演習2	2	社会福祉士として施設での勤務経験を踏まえ授業を展開する。これまでの研究活動から、近年の高齢化問題に関する授業を展開する。	○	○	○
専門演習2	2	ソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。	○	○	○
専門演習2	2	希望者には、指導教員が実施している認知行動療法の陪席および見学を計画。	○	○	○
専門演習2	2	実践から学ぶ社会福祉学の研究者として、目の前の課題を適切に捉え、分析・考察できる力を見つめられるようなゼミを展開する。	○	○	○
専門演習2	2	本演習の担当教員は外務省在外公館の専門調査員としてオランダに派遣され、国際機関に関連する業務に従事した。この知見を活かして、学問としての国際関係論と現実の国際政治との架橋を目指す。	○	○	○
専門演習3	2	高校非常勤講師の経験を生かして、学校の状況について説明を行う	○	○	○
専門演習3	2	学芸員の実務経験を活用した指導を行う。	○	○	○
専門演習3	2	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー(PSW)経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。	○	○	○
専門演習3	2	ソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。	○	○	○
専門演習3	2	本科目自体は、実務経験と関係ないが、テーマによっては実務経験者への聞き取りなどもあり得る。	○	○	○
専門演習3	2	希望者には、指導教員が実施している認知行動療法の陪席および見学を計画。	○	○	○
専門演習4	2	学芸員の実務経験を活用した指導を行う。	○	○	○
専門演習4	2	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー(PSW)実務経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。	○	○	○
専門演習4	2	希望者には、指導教員が実施している認知行動療法の陪席および見学を計画。	○	○	○
精神保健の課題と支援	2	精神保健福祉士としての勤務経験を踏まえ授業を展開する	○	○	○
生徒・進路指導論(2019)	3	40年近く中等教育の現場で研究開発学校の管理職(中高副校長・進路指導主事・研究主任など)として学校運営のみならず研究開発にも取り組んできた。こうした経験を活かして、学校安全管理の視点と法令を遵守した生徒指導の重要性について生徒指導・進路指導の体験を基に指導を行う。	○	○	○
社会情報統計論1	2	実際の社会調査データなどを例にとって説明します。			○
社会調査論	2	学術調査だけでなく市場調査の現地調査員等の経験がある教員が、調査活動の全体像を実例を交えながら講義する。さらに、地方公共団体の統計担当部署による調査実務や、ジャーナリストを招いた取材活動の実践に関するレクチャーも交える。	○	○	○
社会福祉援助技術総論	4	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー(PSW)実務経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。	○	○	○
社会福祉援助技術方法1	4	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー(PSW)経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。	○	○	○
社会福祉援助技術方法2	4	実践から学ぶ社会福祉学の研究者、ソーシャルワーカー養成教育者として、理論と実践を結びつけられるような講義を実施する。	○	○	○

実務経験のある教員による授業科目(人文社会学部)

社会保障論	4	福祉行政での行政実務経験を踏まえた講義を行う。			○	
心理学的支援法	2	臨床心理士・公認心理師としての教員の実務経験を交えながら、現場での心理学的支援の実際を学びます。		○		
障害者・障害児心理学	2	担当教員の児童福祉施設における臨床心理士・公認心理師としての実務経験を交えながら、講義を展開する。		○		
社会・集団・家族心理学B	2	臨床心理士・公認心理師として臨床実務経験のある教員が講義する。		○	○	○
心理演習	2	臨床心理士・公認心理師の資格を持った教員が担当し、自身の心理臨床経験に基づいて心理臨床実践につながる教育を行う。		○		
心理実習1	1	担当教員の臨床心理士・公認心理師としての実務経験を活かした教育を行います。		○		
社会科・公民科教育法B	2	40年近く中等教育の現場で生徒を主体とした社会科教育の実践と、研究開発学校の管理職(中高副校長)として学校運営のみならず研究開発にも取り組んできた。こうした経験を活かして、課題(問い)を中心とした教科指導の理論と実践について具体的な課題を挙げながら教科指導の授業を行う。また、学校安全管理の視点と法令を遵守した生徒指導の重要性について教科指導の体験を基に指導を行う。	○	○		○
社会科・地理歴史科教育法B	2	40年近く中等教育の現場で生徒を主体とした社会科教育の実践と、研究開発学校の管理職(中高副校長)として学校運営のみならず研究開発にも取り組んできた。こうした経験を活かして、課題(問い)を中心とした教科指導の理論と実践について具体的な課題を挙げながら教科指導の授業を行う。また、学校安全管理の視点と法令を遵守した生徒指導の重要性について教科指導の体験を基に指導を行う。	○	○		○
障害者福祉論	2	ソーシャルワーカーとして現場経験を生かした授業を実施			○	
相談援助演習1	2	社会福祉実践を行っている社会人学生や社会福祉士を取得した方々への研修を行っている。基礎を踏まえ、実践に活かせる講義内容にする。			○	
相談援助演習3	2	本科目は社会福祉士国家試験受験資格課程のための必修科目であり、厚労省規定により、「教員要件」が厳格に規定されている。担当教員は全員、原則的にソーシャルワーカーとしての実務経験を有しているため、適宜それをふまえた講義・説明を行う。			○	
相談援助演習4	2	社会福祉士として施設での勤務経験を踏まえ授業を展開する。			○	
相談援助演習5	2	社会福祉士として施設での勤務経験を踏まえ授業を展開する。			○	
相談援助実習1	6	本科目は「社会福祉士国家試験受験資格課程」科目であり、厚労省の法令において、「教員要件」が厳格に規定されている。その要件をふまえて、本科目担当教員は全員原則としてソーシャルワーカーとしての実務経験を有しており、実習中の巡回指導時、適宜そのことをふまえた指導を行う。			○	
相談援助実習2	1	本科目は「社会福祉士国家試験受験資格課程」科目であり、厚労省の法令において、「教員要件」が厳格に規定されている。その要件をふまえて、本科目担当教員は全員原則としてソーシャルワーカーとしての実務経験を有しており、実習中の巡回指導時、適宜そのことをふまえた指導を行う。			○	
相談援助実習指導1	2	本科目は「社会福祉士国家試験受験資格課程」科目であり、厚労省の法令において、「教員要件」が厳格に規定されている。その要件をふまえて、本科目担当教員は全員ソーシャルワーカーとしての実践経験を有しており、適宜、その経験をふまえた講義を行う。			○	
相談援助実習指導2	4	本科目は「社会福祉士国家試験受験資格課程」科目であり、厚労省の法令において、「教員要件」が厳格に規定されている。その要件をふまえて、本科目担当教員は原則的に全員ソーシャルワーカーとしての実務経験を有しており、適宜、その経験をふまえた講義を行う。			○	
卒業論文	8	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー(PSW)経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実際について講義を実施。	○	○	○	○
卒業論文	8	ミクロからマクロまでの研究経験を踏まえて可能な範囲で学生に合致した指導に取り組む	○	○	○	○
租税法	2	現役税理士が、実務に即した経験を踏まえて講義します。守秘義務を逸脱しない範囲で具体的事例について解説します。			○	
スクールソーシャルワーク論	2	スクールソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。			○	
スクールソーシャルワーク演習	1	ソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。			○	
スクールソーシャルワーク実習指導	1	スクールソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。			○	
スクールソーシャルワーク実習	3	名古屋市教育委員会における研修講師等の経験を活かして取り組んでいきます。			○	
地域福祉論	2	実践から学ぶ社会福祉学の研究者、ソーシャルワーカー養成教育者として、理論と実践を結びつけられるような講義を実施する。			○	
知的財産法	2	知的財産の実務家である弁理士が講義をします。			○	
都市政策論	2	5人の講師は、それぞれ以下のような名古屋市内での豊富な実務経験を活かして講義します。 大井-法規審査・法制執務、都市農産、東山動植物園の再生、区長、名古屋市食肉公社理事長など 佐藤-高齢者等の社会福祉、公衆衛生、社会福祉関係の財務、子ども青少年局長、名古屋市社会福祉協議会役員など 須網-公害対策、気候変動や生物多様性、ごみ減量と廃棄物など環境行政全体の総括、環境基本計画、環境アセスメント、市施策事業の総合調整など 土本-児童・高齢者福祉、教育行政、区長経験、子ども青少年局長、名古屋市療養サービス事業団理事長など 富村-地方公務員制度、人材育成、区長経験、市民経済局長、上下水道局長、名古屋市信用保証協会会長など			○	
特別支援教育1	2	本科目は、大学病院の小児科病棟勤務経験のある教員が、その経験を活かした具体的な、実践的な講義を行う。	○			○
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	40年近く中等教育の現場で研究開発学校の管理職(中高副校長・進路指導主事・研究主任など)として学校運営のみならず研究開発にも取り組んできた。学級担任としての経験も豊富で、生徒が主体的に参加する月日経営を行ってきた。また、研究開発では特に「総合的な学習の時間」の研究開発に研究主任として取り組んだ。こうした経験を活かして、特別活動論・総合的な学習の時間の指導法に体験を基に指導を行う。	○	○		○

【専門教育科目】

全学共通科目	0	0	0
学部等共通科目	119	119	119
専門科目	40	66	23
単位数合計	159	185	142

【教養教育科目】

全学共通科目	26	26	26
学部等共通科目	37	37	37
専門科目	0	0	0
単位数合計	63	63	63

【合計】

全学共通科目	26	26	26
学部等共通科目	156	156	156
専門科目	40	66	23
単位数合計	222	248	205